



## 未来の有権者教育

# 模擬選挙体験

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、義務教育段階から選挙の意義を学ぶことが重視されるようになりました。本校では、白河青年会議所の方々を講師にお迎えし、6年生を対象として有権者教育プログラム「みらいく」を行いました。



初めに、講師の方から民主主義や選挙の仕組みについて詳しく教えていただきました。

その後、模擬選挙を行いました。立候補者に扮する3名の方が選挙演説を行い、学校教育に関する独自の公約を訴えました。子ども達は、それぞれの政策や演説の内容についてよく考え、投票を行いました。



この活動を通して、子ども達は国民としての大切な権利である「選挙」についてよく理解するとともに、興味・関心を高めることができました。

## 学校運営協議会コーナー

～学校運営協議会委員リレーコラム～

第2回は、学校運営協議会委員

高田 雅雄 様 です。

### 子どもの体験

現在の社会はグローバル化、情報化、少子化など急速に変化しています。また、人間関係の希薄化や地域社会の協力の低下が問題になっています。このようなことが、子ども達の成長に大きな影響を与えていないのでしょうか。

どんなに生活が豊かで便利になったとしても、子ども達が自立していくためには、生活体験や自然体験、社会体験等、家庭・地域・学校での様々な体験が必要になってくると思われます。そして、体験から一人では生きられないことを認識することも自立の一要素であると思います。

例えば、日常生活の中でのお手伝いや地域の人たちとの交流体験なども大切です。また、林間学校やキャンプなど日常生活とは異なる自然環境の中で仲間同士助け合いながら物事を成し遂げた達成感、美しい景色を見た時の感動などを味わわせることも大切だと思います。

幸いにも西郷村は自然が豊かで、那須甲子青少年自然の家もあり、様々な体験活動ができます。村公民館でもわくわく探検隊、ふるさと講座、図書ボランティアなどの事業を行っていて、そこでも様々な体験活動ができます。

子どもの時の多くの体験が、自発性や意欲を引き出し、豊かな人生の基になることを望んでいます。

第3回は、本校地域連携担当教職員

遠藤 恵美子 教諭（8月掲載）です。